

会議録

会 議 の 名 称	あま市保健対策推進協議会
開 催 日 時	平成31年1月23日(水)午後2時00分～午後3時30分
開 催 場 所	あま市甚目寺総合福祉会館 1階 会議室
議 題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 平成30年度保健事業経過報告について</p> <p>(2) 平成31年度保健事業計画(案)について</p> <p>(3) 健康づくり計画及び食育推進計画に関する行政の取組について</p> <p>3 その他</p>
会 議 資 料	<p>事前配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 平成30年度保健事業経過報告 ・ 参考資料 ・ 平成31年度保健事業計画(案) ・ あま市健康づくり計画及び食育推進計画に関する行政の取組 <p>追加資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配席図 ・ 委員名簿 ・ 平成31年度年間予定表(案) ・ 平成31年度あま市検診ガイド(案)、がん検診等受診券(案)
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	2人
出 席 委 員	八島委員、渡邊委員、藤井委員、木全委員、井村委員、山田委員、溝口委員、市川委員、村上委員、片岡委員、早川委員
欠 席 委 員	富田委員、服部委員
事 務 局	飯尾市民生活部長 (健康推進課) 小野課長、北岡主幹、各務補佐、加藤補佐、松原係長、遠藤係長、山際係長、水谷係長

会議録(要旨)

議事進行：渡邊副会長

1 市長あいさつ

あま市保健対策推進協議会委員の交代について

役員の改選（任期は平成32年1月3日まで）による新役員の紹介

- ・あま市小中学校校長会会長 木全 孝 委員
- ・あま市老人クラブ連合会会長 溝口 日出幸 委員

2 議題

(1) 平成30年度保健事業経過報告について

●事務局

平成30年度保健事業経過及び参考資料により説明

【質疑応答】

○渡邊副会長

妊産婦健康診査の受診者数が減少している理由は何か。

⇒事務局

母子健康手帳の交付数、出生数が減少している。また、妊婦1人につき、14回の受診券があり、受診者数が大きく減少している。

○井村委員

歯のケアが充実しているが、顎の小さい子が増えている。顎の成長の確認方法について

⇒渡邊副会長

食生活、噛む回数の減少、顎・顔が小さく歯が生えきらず、歯茎の中に残っている場合もある。また、先天性の欠損もある。

行政と歯科医師との間で0歳児歯科健診等検討中。

○市川委員

ずっと歯茎の中に歯が残っているのか？

⇒渡邊副会長

大人になってから歯が生えてくることもある。

原因はいろいろ言われている。筋力の低下、食生活、栄養過多により歯が大きくなることもある。

○市川委員

骨粗鬆症検診の結果半分以上が「要指導・要精密検査」となっている理由は。

⇒事務局

年齢が高くなるほどカルシウムが不足し、「要指導・要精密検査」の割合が高くなる。

(2) 平成31年度保健事業計画（案）について

●事務局

平成31年度保健事業計画（案）により説明

補足説明

新規事業は、議会の承認を得てから4月から実施できればと考えている。

【質疑応答】

○八島委員

がん検診の方法について、血液や唾液でがんを発見できるという情報があるが、簡易で精度の高い検診について、導入等検討しているのか。

⇒保健所長

決定的な情報はない。血液でがんが発見できるわけではなく、最終的には内視鏡、レントゲンなどを実施することとなる。血液や唾液でがん検診を行うという方法は、確立されていないため、メリット・デメリットを考慮していく必要があり、現時点で行政で実施する検査方法ではないと思われる。

(3) あま市健康づくり計画及び食育推進計画に関する行政の取組について

●事務局

あま市健康づくり計画及び食育推進計画に関する行政の取組により説明

【質疑応答】

○藤井委員

薬物乱用防止教育について、中学校1、3年生に実施している。タバコ、アルコールについて小中学校において教育をしているが学校教育課だけでなく、子どもたちにタバコ、アルコール、薬物の怖さについての教育に薬剤師の活用を検討をしていただければと考える。タバコは肺がんのリスクとなる。

⇒事務局

アルコール、タバコの正しい知識の普及啓発等を考えている。ご協力をお願いします。

○八島委員

タバコの害について、いろんなところでPRしていただきたい。

○渡邊副会長

受動喫煙によって、歯肉にメラニン色素が沈着したケースがあった。

タバコの怖さ、受動喫煙の怖さについて、子どもの頃からの周知をしていただきたい。

○渡邊副会長

こころの問題について、子どもたちのゲームによる障がいや病気として認定されるときいた。対策、ケアができる体制ができるとよいと考える。

⇒保健所長

広い意味で依存症となる。ゲームのほかにアルコール依存症がよく言われる。
次年度以降、愛知県精神保健福祉センターにおいて依存症の相談窓口の中にゲームについても対応していく。一般的な依存症対策の中で取り組んでいく。
問題があるケースに対して相談窓口の紹介をし、つないでいただきたい。

3 その他

年間予定表の説明